

だいにじくりつしょう ちゅうがっこう くりつようちえん てきせいはいちきほんほうしん そあん
 第二次区立小・中学校および区立幼稚園の適正配置基本方針（素案）に
 よ いけん く かんが かた
 寄せられた意見と区の考え方について

いけん うけつけじょうきょう
 1 意見の受付状況

いけんぼしゅうきかん
 (1) 意見募集期間

れいわ ねん がつ にち げつ れいわ ねん がつ にち げつ
 令和5年12月11日（月）から令和6年1月15日（月）まで

いけんけんすう
 (2) 意見件数

こ いけん けん めい
 子どもからの意見6件（6名）

こ いけん ようし く かんが かた
 2 子どもからの意見（要旨）と区の考え方

たいおうくぶん しゅるい
 対応区分の種類

- : いけん しゅし ふ けいかく はんえい
 意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの
- : そあん しゅし けいさい
 素案に趣旨を掲載しているもの
- : そあん きさい ほか しさく じぎょうとう じっし
 素案に記載はないが、他の施策・事業等ですでに実施しているもの
- : じぎょうじっしとう さい けんとう
 事業実施等の際に検討するもの
- : しゅし はんえい
 趣旨を反映できないもの
- : た じょうきいがい
 その他、上記以外のもの

NO.	いけん がいよう 意見の概要	く かんが かた 区の考え方	たいおう くぶん 区分
だい しょう くりつしょう ちゅうがっこう てきせいはいち 第1章 区立小・中学校の適正配置			
1	がっこうどうし ちか たこう けんか 学校同士が近いと他校と喧嘩にな る。	がっこう さまざま きょういっかつどう 学校は、様々な教育活動を つう ほか ひと きょうちょう 通じて、他の人と協調しなが ら、よりよく問題を解決するなど の「生きる力」を育む場となり ます。そのため、学校の友達だけ でなく、他校の児童・生徒と関係 を築きながら、「生きる力」を育 んでいきましょう。	-

NO.	いけん がいよう 意見の概要	く かんが かつ 区の考え方	たいおう 対応 くぶん 区分
2	がっこう にんずう ともだち がっこう 学校の人数が友達の学校の2 ばいじょう あたら しょうがっこう 倍以上なので新しい小学校を つく 作ってほしい。	こ にんずう こんごへ 子どもの人数は今後減っていく よそく がっこう ことが予測されるため、学校を あたら つく むずか 新しく作ることは難しいと かんが く 考えています。区は、できるだけ こ にんずう 子どもの人数のバランスがとれる がっこう はいち おも ように、学校を配置したいと思っ ます。	
3	がっこう がっこう はんい 学区をなくしてほしい。学区の範囲 ちか ちゅうがっこう がおかしいから、近い中学校があ しん とお るのに信じられないくらい遠いところ かよ に通っている。	つうがくくいき ちいき こ 通学区域は、地域の子どもの にんずう つうがくきより ちょうかい じちかい 人数や通学距離、町会・自治会 ちいき かんけい かんが など地域との関係などを考えて せってい つうがくくいき 設定しています。通学区域がなく にゅうがくしゃ おお がっこう なると、入学者が多い学校は、 きょうしつ た かんが 教室が足りなくなることも考 えられるため、通学区域は必要と かんが 考えています。 とくべつ りゆう ばあい なお、特別な理由がある場合に していこうへんこう せいど は、指定校変更という制度があ ほか がっこう がっこう つうがく り、他の学区の学校に通学でき ちゅうがっこう ます。また、中学校では しんにゅうがくじ がっこう せんたく 新入学時に学校を選択できる せいど 制度があります。	
た その他			
4	こうそく せいとてちょう か 校則をちゃんと生徒手帳に書い て、なるべくゆるくして欲しい。	こうそく ないよう せいと ほごしゃ 校則の内容は、生徒や保護者の かんが かつ ちいき じょうきょう しゃかい 考え方、地域の状況、社会 じょうしき ふ まいとしみなお の常識などを踏まえ、毎年見直 ひつよう せいとそうかい す必要があります。生徒総会など きかい せいと みな の機会に、ぜひ生徒の皆さんが しゅたい こうそく ないよう 主体となって校則の内容を けんとう 検討してください。	-

NO.	いけん がいよう 意見の概要	く かんが なた 区の考え方	たいおう 対応 くぶん 区分
5	まいにちせきが がっこう 毎日席替えできる学校にしてほし い。	せきが おこな 席替えを行うことで、いろいろ ともだち はばひろ かなか な友達と幅広く関わることがで きます。一方、学習面では、 いっていきかんおな 一定期間同じメンバーで けいぞくてき いけんこうかん 継続的に意見交換をしたり、コ ミュニケーションを図ったりする ことも必要であると考えていま す。	-
6	きょうか す がっこう すべての教科が好きになる学校に かよ 通いたい。	かくがっこう じどう せいと みな 各学校では、児童・生徒の皆さ んが自分から学習に取り組もう おも と思えるよう、様々な工夫をして います。問題が解けたときの嬉し さや友達と話し合い多くの意見 を聞くことの楽しさなどをたくさ ん感じて、全ての教科を好きに なって行ってほしいと思います。	-